

農業競争力強化基盤整備事業

ヤマウス地区

基礎資料（事後評価）

【事業概要】

○事業の実施状況

【整備前】



【整備後】



起伏のある草地を整備



農道の整備（砂利道→舗装道）



隔障物の整備（追込柵）

○営農状況



放牧地



水飲場施設の利用



牧草の収穫

1. 社会経済情勢の変化

<産業別就業人口>

単位:人

区分	事業実施前 (平成17年)	事業実施後 (平成27年)	増減	増減率
農業	442	364	△78	△18%
林業	65	84	19	29%
漁業	639	693	54	8%
鉱業、鉱石業、砂利採取業	7	5	△2	△29%
建設業	619	418	△201	△32%
製造業	734	739	5	1%
電気・ガス・熱供給・水道業	18	15	△3	△17%
運輸・通信業	179	152	△27	△15%
卸売・小売業、飲食業	787	658	△129	△16%
その他	1,584	1,431	△153	△10%
総数	5,074	4,559	△515	△10%

出典: 国勢調査

2. 事業により整備された施設の管理状況



堆肥の散布状況



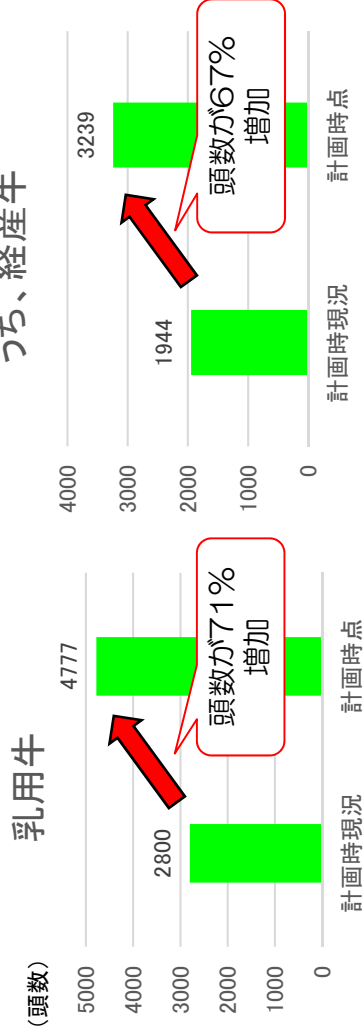
農道周辺の草刈り



排水路の土砂あげ

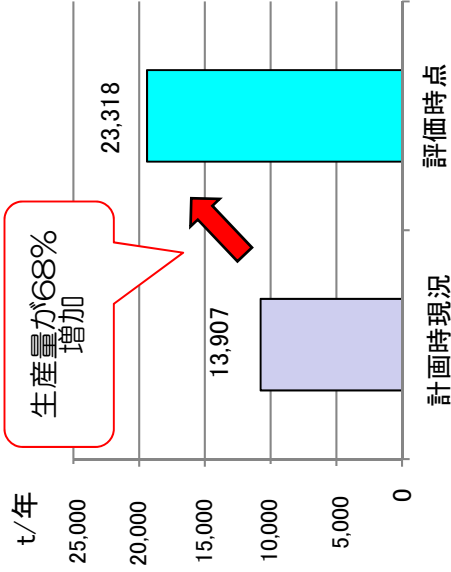
3. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

＜飼養頭数＞



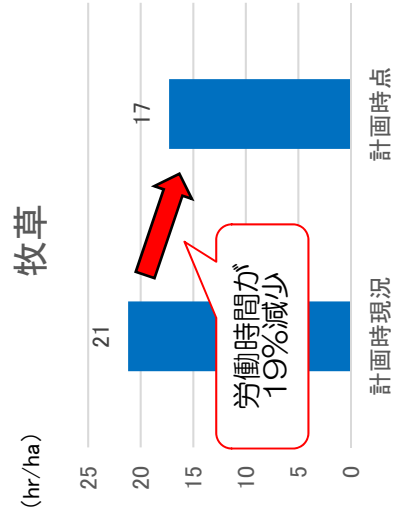
出典：事業計画書、JA宗谷南聞き取り

＜生乳生産量＞



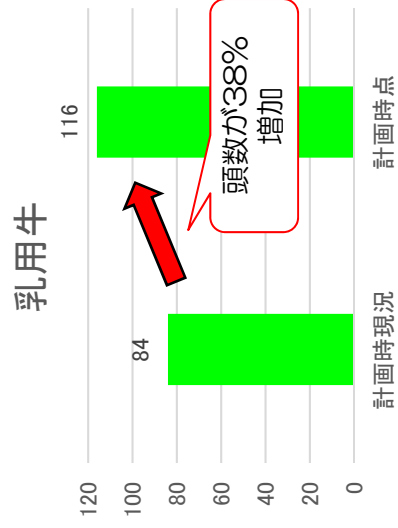
出典：事業計画書、JA宗谷南聞き取り

＜労働時間＞



出典：事業計画書、JA宗谷南聞き取り

＜事業預託農家1戸当たりの飼養頭数＞



出典：事業計画書、JA宗谷南聞き取り

4. 事業効果の発現状況



よつ葉乳業宗谷工場

枝幸町で生産される生乳は、大半が「よつ葉乳業宗谷工場」へ運ばれ全粉乳として加工され、受入乳量の50%を占める。



よつ葉乳業で生産した全粉乳は大手菓子メーカーや大手飲料メーカーに原料として出荷され全国で販売している。



南宗谷4町村のJAが限定販売しているよつ葉乳業の「宗谷ゴータチーズ」



公共牧場は就農希望者の研修施設としても活用している。

技術検討会委員からの事前意見と回答（ヤマウラス地区）

番号	発言者	該当項目	意見等	回答案
1	井上(京)委員	評価結果書 (p1)	事業目的の「通年預託」という言葉が聞きなれないが、文字どおりの年間を通じて預託するのか。農家にとってはどういう意味をもつか。また、公共牧場ではどれくらい預託を受け入れられるのか。	年間を通して育成牛、哺育牛を預託することにより、預託農家の飼養管理に係る労働時間を低減することが可能となります。 公共牧場の預託可能頭数は、放牧636頭(夏季平均)、舎飼460頭(主に冬季)となっています。
2	宗岡委員	評価結果書 (p2)	本地区で整備した施設の管理には、多面的機能支払交付金も活用しているのか。	多面的機能支払交付金は利用されていません。
3	井上(京)委員	評価結果書 (p3)	乳用牛の飼養頭数が2,800→4,777頭へ1.71倍に増えた一方、1頭当たり乳量は7,153→7,353kgと1.02倍に増加している。頭数も頭当たり乳量も増加していれば、全体生産量の伸び率はそれぞれの伸び率より大きくなりそうだが、資料では13,907→23,318と1.68倍にとどまっている。これはなぜか。	乳用牛の飼養頭数は経産牛(搾乳する牛)だけでなく、子牛や育成牛の頭数を含んだものです。全体の飼養頭数の伸び率は高くなりませんでした(1,944→3,239頭1.67倍)。また、評価時点の1頭当たり乳量は7,199kgであり、7,153kg→7,199kgの1.01倍が正しいので修正しました。全体生産量は13,907→23,318と1.68倍で変わりません。
4	井上(誠司)委員、佐久間委員	評価結果書 (p3-4)	枝幸町全体と地区農家の比較ができると、より効果が見えやすい。 →戸当たりの飼養頭数、頭当たりの生乳生産量、飼料自給率	枝幸町全体の戸当たり飼養頭数、頭当たりの生乳生産量、飼料自給率は以下のとおりです。 H25: 86頭/戸、7,451kg/頭、70% H30: 96頭/戸、7,617kg/頭、73% (事業実施前のH19についてはデータがありませんでした) 飼料自給率については、地区内のみデータがないため、町全体のデータです。
5	佐久間委員	評価結果書 (p4)	預託期間中は個々の農家では飼料を与えないこととなるが、飼料自給率はどのように計算されているのか。預託期間中の飼料供給はどのように評価されているのか。	本地区では、当初計画時に預託農家毎の自給率計算を行っていないため、町酪近計画の飼料自給率(町全体)により算定しています。 【算定方法】 預託農家毎の飼養頭数に見合った必要粗飼料に対して、供給量(作付面積×単収×利用率×養分率)を算定し自給率を算定。計画は、市町村の酪肉近計画に定められている伸び率や単収を用いて算定。 ただし、飼料自給率の算出項目には公共牧場のデータは入っていません。 前年まで公共牧場に預託していなかった農家が新たに預託をした場合、(経営内での飼料作物生産量がかわらなければ)経営内飼料自給率は上がります。
6	大熊委員	評価結果書 (p4)	認定農業者の年齢構成について教えていただきたい。	認定農業者41人の内訳は以下のとおりです。 20代: 1人、30代: 7人、40代: 13人、50代: 6人、60代: 14人
7	波多野委員	評価結果書 (p5)	関連事業で行ったという家畜排せつ物処理施設とは、具体的にどんなものを整備したのか。	堆肥舎を整備しています。
8	宗岡委員	評価結果書 (p5)	今後も牛が増えたとその分家畜ふん尿の量も増えていくが、関連事業で整備された家畜ふん尿処理施設は対応できるのか。さらに施設を整備しなければならないのか。	本地区の完了時は既存施設で対応可能でしたが、その後の受入頭数の増加に伴い、後続の道営地区(枝幸地区:H31新規)にて、処理施設の増築を行うこととしています。

技術検討会委員からの事前意見と回答（ヤマウス地区）

番号	発言者	該当項目	意見等	回答案
9	井上(京)委 員	評価結果書 (p5)	事業実施による環境変化の部分で「土砂流出等による河川の水質汚濁の防止」とは、具体的に何をしたのか。	<p>暗渠排水の流末処理に汚濁防止施設を設置し、汚濁水が流出しないよう下流部の河川に配慮して工事を行っています。当該施設は、施工時に発生する濁水の処理を目的とした仮設備（施工完了後撤去）です。本項の内容が、排出ガス関係と暗渠排水関係の2点であるため、評価結果書を以下のように修正しました。</p> <p>修正前： 本事業の実施にあたっては、排出ガス対策型建設機械の使用による排出ガスの低減や土砂流出等による河川の水質汚濁の防止など、自然環境に配慮した工事を行った。また、暗渠排水の疎水材には・・・</p> <p>修正後： 本事業の実施にあたっては、排出ガス対策型建設機械の使用による排出ガスの低減に努めた。また、暗渠排水の整備にあたって、流末処理に汚濁防止施設を設置し、施工時に発生する汚濁水が流出しないよう下流部の河川に配慮して工事を行ったほか、暗渠排水の疎水材には・・・</p>
10	宗岡委員	評価結果書 (p5)	環境変化の項目で生物について記載されていないが、本地区の場合、事業前も調査をしていなかったのか。もし調査していない場合、用排水路を直接整備しないことが理由か。	<p>事業計画時に「環境情報協議会」を開催し、学識経験者等によってほ乳類、鳥類に対する現地調査が実施されました。この中で、地区内で保全の対象となる生物は確認されないと結果になりましたが、下流域の河川及び水生生物等への配慮を行うために、施工時の濁水処理を実施したところです。</p>
11	井上(京)委 員	評価結果書 (p5)	事業による環境変化の部分で暗渠排水の話が出てくるが、草地整備の内数として実施したものか。	<p>草地整備の内数として暗渠排水を34ha整備しています。</p>
12	佐久間委員	評価結果書 (p5)	公共牧場の利用者数の推移いかん。	<p>公共牧場への預託農家数は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H19年：33人 ・H25年：35人 ・H30年：41人
13	佐久間委員	評価結果書 (p5)	6(今後の課題等)における最後の「草地整備改良や草地造成改良を行い自給飼料の向上を着実に図ることが必要である」とは、公共牧場ではなく、預託農家にとっての課題を示しているのか。	<p>預託農家も含めた村幸町全体の農家のうち、牧草の生育に支障を来し草地整備(基礎整備)を必要としている農家に対する課題です。公共牧場に関する課題と、それ以外の課題を区別するため、評価結果書を以下のように修正しました。</p> <p>修正前： 公共牧場の供用開始後・・・預託希望者が増加している現状を踏まえて・・・哺育舎・・・等を建設し預託希望者への対応をすとともに、草地整備改良や草地造成改良を行い自給飼料の向上を着実に図ることが必要である。</p> <p>修正後： 公共牧場の供用開始後・・・預託希望者が増加している現状を踏まえて・・・哺育舎・・・等を建設し預託希望者からのニーズに対応することが必要である。また、地域の草地に関して、牧草の生育に支障を来している農地を対象に草地整備改良や草地造成改良を行い自給飼料の向上を着実に図ることが必要である。</p>
14	井上(京)委 員	概要図 (p7)	概要図の右上にあるオレンジ色の部分は何を示しているのか。	<p>該当箇所も受益地のため、着色を「黄色」に変更しました。</p>